

ちょっとだけ!!
フライングディスク
将来構想会議
2020

将来構想メモvol.5(2020/10/06)

Flying Disc Times
presents

<ゲストプロフィール>

井田敦士

活動拠点:関東地区

所属:早稲田大学ソニックス

関わり方:プレイヤー

宮口知也

活動拠点:関西地区

所属:近畿大学

関わり方:プレイヤー

杉村勇人

活動拠点:関西地区

所属:大阪体育大学ボーシャーズ

関わり方:プレイヤー

<フライングディスクをこうしていきたい>

- ・地区間や人数による戦力格差の是正
- ・大学進学前にフライングディスクに触れる環境を作る

<困っていること / 課題>

- ・指導者の配置
- ・全国的なルール理解の均一化
→セルフジャッジを尊重した上で、平等にできるシステムがほしい
- ・人数不足、新入生の確保

<考えている解決策>

・**大学チームなど関係なく、人数が少ない大会の開催**

例)3:3の公式戦の開催

→人数を少なくすることでコミュニケーションを増やす。

人数が少ないチームが大会へ参加するハードルを下げる

→地区間や人数による戦力格差の是正につながるのでは？

・**新入生向けオンライン ルール&SOTG講習会**

→大学チーム内での上級生から下級生へのルール講習に頼らず、外部の機関(協会やSOTG委員会など)がその役割を担う

→WFDFのルールテストを用いたチーム全体でのルール理解

<論点の整理>

- ・アルティメットは必ずしも7:7ではない

- チームや地域によって人数に偏りがあっても同等に戦える環境を作る

- 人数が多いチーム:全員が試合に出場できるとは限らない

- 人数が少ないチーム:そもそも大会にエントリーできない

- ・セルフジャッジの競技だからこそ実力や活動地域関係なくルールの認知に差があってはならない

- このスポーツのスタート段階で共通のルール理解が必要

